

センターだより

きゅと!



令和7年度8月号

四天王寺悲田院児童発達支援センター

子どもたちの目標

「規則的な生活と元気な体づくり」
「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
「自分のことは自分でする」
「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
「知らない所でもなじむことができる」
「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」



8月の予定

2日(土) 休園

5日(火) 盆踊り 18:30~

※自由参加

12日(火) 盆法要

13日(水)~17日(日) 夏季休園

18日(月) 運営協議会 12:00~

25日(月) 避難訓練(センター棟) 10:20~



お知らせ



○実習生について クラスに入りましたら、よろしくお願いいたします。

7/28(月)~8/8(金) 四天王寺大学(保育士)2名

8/20(水)~9/19(金) 関西福祉科学大学(社会福祉士)1名

○夏季休園中のご連絡について

8/13~8/17の盆休みの間、職員は出勤していません。休み中のご連絡については、保育アプリコドモンにご連絡いただきますようお願いいたします。コドモンの確認が職員の出勤後の8/18(月)となりますことをご了承ください。

○盆踊りにについて

悲田院の全体行事となります。現在、悲田院をご利用頂いている方及びそのご家族のみへの参加案内とさせて頂いております。自由参加ですので、開催時間内のご都合の良い時間にお越しください。開催時間内でも屋台の食材や景品がなくなり次第、当該屋台は終了となりますのでご了承ください。また、職員は出店ブースや警備等の対応を行いますので、お子様への付添等はご家族の方でお願い致します。

詳しくは既に配信しております、盆踊りのお知らせをご覧ください。

暑い時期ではありますが、ご家族お誘いあわせの上ご参加ください。



○夏の戸外活動(園庭プール含む)について

当センターでは夏の戸外活動の実施について、環境省より発信される基準及び大阪府より発信される光化学スモッグの発令状況に則り、判断致します(当センターの「外遊び実施規程」に定めております)。よって、晴れていても園庭遊びや園庭プールを中止することがありますのでご了承ください。

『子どもの力を信じる大人の力』

保育士 藤原



『親力』

皆さんは「親力」という言葉を聞いたことがありますか？

これは公立小学校で23年間教師を務められた親野智可等先生が著書の中で述べている言葉です。親力をひと言で表すと「子どもを育て、包み、伸ばす総合力」と先生は述べています。

保護者の皆さんが考える「親力」とはどのような力でしょうか？私は今まで、色々な保護者の方と出会う中で沢山のお話を伺い、様々な相談をいただきました。どの保護者さんもお子さんの幸せを大切に思われていました。

お子さんのためを思うあまりに「親としてしっかりしなきゃ」「わが子の為に何かをしなければ」と考えすぎて、気持ちがしんどくなった方もいました。

あらためて「子育て」って本当に大変で難しいことだと感じています。自分を追い詰めてしまうと、どんな人だってしんどくなってしまいます。親である前に一人の人間です。時々、イライラしても、そんな自分を振り返って反省することが出来たのなら、充分ではないでしょうか。心が落ち着いたら、また我が子と向き合えばいいと私は思っています。

日々の生活の中でお子さんへ「これが出来るようになってほしい」「こうしてほしい」「こうなってほしい」等の思いから、自分の感情でお子さんを叱ってしまうといったご相談も受けます。私が子どもと関わるときに大切にしていることは子どもの行動、結果を見て感情を伝えるのではなく、子どもの気持ちやプロセスに着目して声をかけることです。例えば行動が成功しなかったとしても、「初めてやってみたん、頑張ったね」「これむずかしいよね。でも頑張ったんやね」「一人でやってみたん、頑張ったね」「これおもしろいね」「最後までやってみたんやね」等です。コツとしては、その行動をしたときにすぐに声をかけてあげることは大事です。声の大きさ、イントネーション、表情、ジェスチャー、スキンシップも大事です。子どもによって、どのようなほめ方が好きかも変わってきます。いずれにしても子どもにとって最高のご褒美はお父さんやお母さんに褒められることだと思います。（ぜひ試してみてくださいね）

また、親が持ち、秘めている「子どもを信じ、認める力」＝「親力」があるということに気付いてもらえると嬉しいです。親として「何かをしなければ」という思いも大事ですが、「子どもを信じ、認める」、そんな潜在的にもつ保護者の皆さんの「力」に気づき、子育てに自信を持ていただければと思います。

偉そうなことを言ってしまいましたが、私は子どもが大好きな保育士です。保護者の皆さんの気持ちに寄り添いたいと思っています。お子さんの成長を共に見守り、考え、保育士として少しでもお力になれることがあれば、嬉しく思います。

毎日の家事や育児、仕事と一日を過ごすだけでも精一杯の中で、大変なこともあるかと思います。そんな時は、気持ちを自分の中に押しとどめるのではなく、誰かに話すことも大事だと思います。たまには自分へのご褒美もあっていいじゃないでしょうか。それで、家族みんなが笑顔になるのなら万々歳ではないでしょうか。

たまには息を抜いて‘ひとやすみ’をすることも、子どもと向き合うための大切な「親力」だと思います。

●参考文献：「親力」で決まる！子供を伸ばすために親にできること 親野智可等先生（著）

